

## 哲学カフェ@名古屋 <別れとは何か>

(2015年8月2日)

日時: 2015年8月2日(日) 11:30~13:15

場所: カフェ・サンラファエル (名古屋市西区名駅 2-11-8 ファーストビル大樹 1階)

テーマ: 別れとは何か

進行: 奥田太郎

参加費: 飲食代実費(440円~)

定員: 17名

備考: ① 100円程度のご寄付をお願いしています。(強制ではありません。)

② 写真撮影と対話の録音をさせて頂いております。NGの方はお申し出ください。

### 《ご案内》

私たちは、暮らしの中で、さまざまな出会いを求め、偶然の出会いにときめき、多くの関係性を育んでいます。出会いには、新しいものの誕生を予期させる何かがあり、見慣れたものに対してすら、これまで気付いて来なかったものを見出して、新たに出会い直すこともあるでしょう。私たちの暮らしは、出会いに満ちていると言っても過言ではありません。しかし、新しい出会いは同時に、新しい別れの始まりでもあるかもしれません。にもかかわらず、私たちは、その経験の辛さ・切なさからか、「別れ」というものについて、あまりきちんと考えない傾向があるのではないのでしょうか。

今回は、さまざまな「別れ」について、哲学的対話を通じて皆さんと考えたいと思います。

### (この哲学カフェで)大切にしたいこと

《聞きたい・知りたい・考えたい》という気持ち

### (この場での)哲学カフェのルール

- ✓ 途中参加・退出自由です。
- ✓ 自己紹介は不要です。
- ✓ 発言は最後まで聴いてください。
- ✓ 発言してもしなくても自由です。発言するときは挙手してください。
- ✓ できるだけわかりやすく自分の言葉で発言してください。
- ✓ 信条を一方向的に述べて押しつけることは控えてください。

## HP フォーラムへの投稿から(考える足がかりとして)

\*\*\*\*\*

#1 Kさま (2015年7月20日(月祝) 投稿)

杯にお酒をつがせておくれ/どうぞなみなみつがせておくれ/花に嵐のたとえもあるぞ/さよならだけが人生だ

師が贈ってくれた言葉なので/私にとってはこういうものです/別れは一度だけなのに/記憶の中で何度も何度も繰り返してしまふ/それは新たな別れなんでしょうか/それとも出会いなんでしょうか

\*\*\*\*\*

#2 TMさま (2015年7月22日(水) 投稿)

出会いと別れが自分のアイデンティティを作り、揺るがせ、崩壊させる。別れについて、自ら問いを立て、答えを出す哲学的な思考の準備作業として、そもそも別れにはどのような別れがあるか、別れにまつわることを想定してみます。

(1)再会の可否を基準

- ①再会可能な別れ 例:学校や会社の帰り際の挨拶
- ②再会不可能な別れ 例:死別
- ③再会困難な別れ 例:遠方・海外への移住
- ④曖昧な別れ 例:サヨウナラと言えないまま好きな人と疎遠になる失恋

(2)喜怒哀楽の基準

- ①辛い別れ、別れたくない別れ 親しい人との別れ
- ②嬉しい別れ、別れたい別れ 嫌いな人との別れ

(3)善悪の基準

- ①善い別れ 例:いじめっ子とクラス替えになる
- ②悪い別れ 例:何らかの事情で親密な親子兄弟姉妹が生き別れる

(4)考え方の違いで袂を分かつ

- ①喧嘩別れ 例:フロイトとユングやアドラー
- ②建設的な別れ 例:卒婚、卒業

(5)法律上の紛争になる

(6)難易度

- ①簡単に別れられる
- ②なかなか別れにくい

(7)自由度

- ①自発的な別れ
- ②非自発的な強制的な別れ

(8)別れのタイミング

- ①あらかじめ別れがある期限があり 例:小中学校の卒業
- ②唐突の別れ 例:急死、恋人からの別れ話、解雇や倒産

(9)儀式を伴うもの

- ①褒めるもの 例:卒業式
- ②悲しみを和らげる「喪の儀式」があるもの 例:初七日、四十九日、初盆、一周忌、三周忌

(10)そもそも別れの概念について「別れる」前提には 2 人以

上の人間に出会いと一定時間の「関係」が先行しなければならない。関係の質について

- ①選択したもの 例:カップル
- ②選択出来なかったもの 例:親、子ども、同級生、クラス担任
- ③親密性
  - a) 好き嫌いがある親密性がある共同体 例:家族
  - b) 共通の理念や目的で出会い対となる関係、所属、関係構築である組織 例:企業

(11)実際に顔と顔を合わせた出会いと関係からか否か  
否の例:ネット上のコミュニティのメッセージ交換、オンラインゲームのチームメイト

(12)出会いと別れの時間

- ①極端に短いもの=一期一会 例:哲学カフェ
- ②長いもの 例:高齢の親の死

(13)喪失する=別れる対象 大切なもの(人とは限らない)を喪う

- ①愛するペットを喪う
- ②大地震や津波で故郷や自宅や肉親や仕事を喪う
- ③深く愛していた性愛(異性愛、同性愛など)人に振られる
- ④愛着のある会社を退職する解雇されるアイデンティティの危機になる
- ⑤自分自身との別れ 認知症の進行、自分の死を受け入れること

\*\*\*\*\*

#3 Kさま (2015年7月22日(水) 投稿)

夜眠ることは自分との別れなのか?/意識が断絶している以上別れとも言える/しかし自分は変わらないと仮定するならば別れではない/では眠ることは自分との別れと仮定するならば/断絶の時間は関係があるのか?

あるいは自分の気持ちが変わってしまった場合には?  
掌を返すように共感がなくなった時/物理的には近くにいるのに/別れているといえるのではないか/これも別れだとすると/相手との別れなのだろうか/それとも過去の自分との別れ?

\*\*\*\*\*

#4 Kさま (2015年7月23日(木) 投稿)

信用を失うということも/別れの原型なのだろうか

そこに存在しなくなる別れではなく/そこに存在しているのに関係性が変わってしまう別れ/再会しても埋められないものがある関係

再会の約束をした相手が帰らぬ人になった場合の別れは/いつなのだろうか?/最後に意思を疎通した時?/この世にいなかった時?/それともその事を知った時?/その事を受け入れた時?

\*\*\*\*\*

#5 TMさま (2015年7月26日(日)投稿)

コノサカヅキヲ受ケテクレ/ドウゾナミナミツガシテオクレ/ハ  
ナニアラシノ外トヘモアルゾ/「サヨナラ」ダケガ人生ダ

于武陵の漢詩「勸酒」を井伏鱒二が訳したものらしい。突っ  
こませて頂くと、

(1) なぜ「サヨナラ」だけが人生だなのか、なぜ「こんにちは」  
だけが人生だにならないのか。 出会いがなければ別れもない。  
出会いと別れのどちらをとるかで、ポジティブにもネガティブ  
にもなる。

(2) 花が嵐でバラバラに散るとするのは「自然現象」である。  
これを「別離」(漢文では)と解釈するのは人間である。化学  
反応式は分離と結合で表されるが、分離はすべて「別れ」に  
なるのか。「分かれる」は自然現象のように元々のものが幾つ  
かのものなることとし、「別れる」は人が、主観的に「別れ」と解  
釈すると限定してはどうだろうか？ また、「別れ」とは単純に人  
と人が離れる、分かれることを指すのではなく、離れるとき、  
分かれるときに、分かれる人の主観(意識や心程度です)に  
悲しい、嬉しいあるいは別れたい・別れたくないなどの感情  
や意識が生まれるものを指すと限定してみてもどうだろ  
うか？ 人間関係の継続や濃度、遠近、太細に関わる事としたら  
どうだろうか。

\*\*\*\*\*

#6 Kさま (2015年7月26日(日)投稿)

心が前を向いている時には出会いこそが人生かもしれませ  
ん/ではサヨナラだけが人生と感じる時は？/過ぎ去る時間  
をいとおしいと感じるときではなからうか

暫しの別れが永い別れになってしまう経験が/別れの意味  
を少しずつ変化させて/単純な別れに化学変化のような劇的  
な現象を引き起こす /そして時には別れてからその価値を  
知り/時間が経ってから後悔が募る関係もあります /あるい  
は人づてに伝わってくる情報を追加したり/経験を積まないと  
理解できない関係性もあります/別れの尺度には科学反応の  
ような要素もあるのではないでしょうか

\*\*\*\*\*

#7 Kさま (2015年7月28日(火)投稿)

各種の自己判断が不能になる依存症/これらも別れといえ  
そうな気がします/いったいなにと別れてしまったのでしょ  
うか？/別れが対象との離別だとするならば/自分が自分でな  
ってしまう依存症は/誰にとっての誰からの別れなのでしょ  
うか？

\*\*\*\*\*

#8 TMさま (2015年7月31日(金)投稿)

「分かれ」も「別れ」も、もともと一体とか一つのものから、二  
つに、幾つかのものに分割されたり別々になることを指すこと  
としてはどうか。「別れ」は人間に、「分かれ」は非人間に使用  
するとする。

\*\*\*\*\*

#9 TMさま (2015年7月31日(金)投稿)

サヨナラだけが人生だ が何を意味するのか考えてみます。

1. サヨナラが普通であるならば、別れがあるときに別れを悲  
しむことはおかしいと理性的に考えることが出来る。

2. サヨナラだけが人生だと考えると、人生で出会うことに意  
味を感じられず、生きる意味を得られない虚無感を感じる。

3. 死んでしまったらそれまでよとひらきなおれば、かけがえ  
のない自分の大切さを実感し、たった一回の生を肯定して強  
く生きる決意と努力をする。

4. サヨナラだけが人生だということを否定することから、未練  
や執着の苦しみや不死への不可能な願望がはじまる。

\*\*\*\*\*

#10 Tさま (2015年7月31日(金)投稿)

井伏鱒二が「サヨナラダケガ人生ダ」と訳した個所は原詩で  
は「人生足別離」/ 前野直彬(岩波文庫)の注解によれば/  
○足 たっぷりある。多いこと。/で、/人が生きて行くうちには、  
別離ばかりが多いものだ(さあ、くよくよせずに飲みほしたま  
え)/とある。/井伏の訳に比べて散文的で物足りないだろうか。  
ぼくはむしろこの直訳(人生、別離が多く、たっぷり)の無骨  
な飾りなさに、惹かれる。人生足別離

芭蕉(「奥の細道」巻末)の/蛤のふたみにわかれ行秋ぞ/  
奥の細道はこの軽やかな調子の句で終わっている。

旅の終わりの句もその軽さが飄々として面白い。

\*\*\*\*\*

#11 KSさま (2015年7月31日(金)投稿)

亡き王女のためのパヴァーヌ/今回のテーマを考えると面  
白い曲名と思いました

別れというものを境にして/別れがあった後に思い出を曲に  
している/別れは現在にも未来にも存在しない/ある種の別れ  
は人為的に追憶できるということでしょうか

また/音楽という存在は出会いなのでしょうか？/それとも別  
れなのでしょうか？/音とは聴くと同時に「別れ」ています/そ  
れとも「分かれ」ているのでしょうか？

\*\*\*\*\*

(スタッフ注) 適宜句読点の追加、改行、文尾の変更等をし  
ています。

## 今後のイベント紹介

### ◆ 哲学カフェ ◆

日時：2015年8月22日(土) 10:00～11:30 ←**ご注意！ 第四土曜日です！**

場所：カフェティグレ伏見店(名古屋市中区錦1丁目10-11、ユーキホテル1階)  
名古屋市営地下鉄「伏見駅」10番出口から北へ徒歩1分

テーマ：「友だち」って誰のこと？

進行：高木美歩

参加費：飲食代実費(390円～)

定員：15名

申込：不要（ですが、なるべく事前にご予約ください。定員に達し次第、申込みを締切ります。）

ご案内：皆さんはいったい何人友だちがいますか？私たちは日頃付き合う人に「知人」「友だち」「親友」などとなにげなく言葉をあてはめていますが、その分類はどこで決まるのでしょうか？最近では「メル友」「ママ友」「キスフレ」など、独特の友だちの形も見られます。また、友だちは私たちの人生を豊かにしてくれる半面、時に悩ませたりもします。そんな「友だち」という存在を、私たちはどのように考えているのでしょうか？初めての方も大歓迎、お茶を飲みながらじっくり言葉を交わしましょう！

### ◆ 哲学カフェ ◆

日時：2015年9月5日(土)もしくは6日(日) 時間帯未定

場所：名古屋駅東口 カフェ・サンラファエル(名古屋市西区名駅2-11-8 ファーストビル大樹1階)  
名古屋市営地下鉄「名古屋駅」1番出口から北へ徒歩5分

テーマ：(検討中)

進行：(検討中)

参加費：飲食代実費(440円～)

定員：17名

申込：不要（ですが、なるべく事前にご予約ください。定員に達し次第、申込みを締切ります。）

### ◆ 哲学カフェ ◆

日時：2015年9月19日(土) 10:00～11:30

場所：カフェティグレ伏見店(名古屋市中区錦1丁目10-11、ユーキホテル1階)  
名古屋市営地下鉄「伏見駅」10番出口から北へ徒歩1分

テーマ：(検討中)

進行：(検討中)

参加費：飲食代実費(390円～)

定員：15名

申込：不要（ですが、なるべく事前にご予約ください。定員に達し次第、申込みを締切ります。）

以上